

## オオミズアオ

澄川基地に到着してすぐ、テーブルまわりの地面に何か白いものが落ちているのが目にとまりました。オオミズアオの死骸でした。胴体はアリにでも食べられたようで目玉まわりが少し残っているだけでした。画像の記録は2014年7月8日9時37分でした。



オオミズアオは美しい蛾です。エレガントな翡翠色のパーティドレスを着た貴婦人のようです。私の評価では蛾の中で一番の美形だと思っています。しばしば

屋間に森の木々の高いところをふわふわと飛んでいたりします。これまでにここ澄川でも支笏湖の「復興の森」でも見たことがありますが、なにせバカチョンデジカメで撮影できる距離ではありませんでした。少年の頃の展示箱には入っていました。少年時代の九州では珍しくもなく、捕虫網で捕獲できたのです。分布は屋久島以北の日本全土のようです。北海道の蛾にしては大柄で、翅の開張は約10センチほどもあります。年2回発生すること。この時期は1回目だと思われ



れます。

終齢幼虫は大きいイモムシですが、ごらんのように結構美しいのです。イモムシにしては美形であります。食草はモミジ、サクラ、リンゴ、ナシ、などですから、澄川ではエゾヤマザクラやカエデ類がありますから、澄川産なのでありましょう。北海道産は亜種だとされているようですが。分類などは専門家に任せて、われわれ森人は神様のデザインを感動とともに楽しむことに徹しましょう。



超大型台風8号が沖縄に接近しているので、気温30℃を超える真夏日となりました。そんな中でも15人もの参加者で、かんかん照りの中、作業道の刈払いと薪割りを分担しました。私は薪割りのサポートをやりました。薪材の中から今年もまた大きなアオダイショウの脱皮抜殻がでてきました。毎年抜殻が出てきますので、同じ固体がこの辺りを縄張りしているようです。